

年頭所感2016

公益社団法人 北海道臨床工学技士会
会長 室橋 高男



新年明けましておめでとうございます。2016年の新春を迎え、本年が会員皆様と当会にとって良い年になることをお祈り申し上げます。また、日頃より当会の活動に対しまして格別のご指導、ご支援を賜っております関係各位の皆さまに深く感謝申し上げます。

昨年は、学術委員会、教育委員会企画の各種セミナーと学術大会を開催する中で、北海道東北臨床工学技士連絡協議会との合同開催となる第2回北海道・東北臨床工学会(第26回北海道臨床工学会)を開催し、東北6県からの参加者の他、70演題を越える演題数で盛況に終えることができました。教育委員会では、学会発表へ向けた統計セミナーや心カテセミナーを開催したほか、ロボット手術作業部会は3年目を迎え、保守管理や災害対応のマニュアルの作成を進め、先進医療へ臨床工学技士として活躍できるよう積極的に関わるべく進めております。医療安全では、医療スタッフへの講習会を開催し、医療安全の向上を目指し活動しています。財務委員会、事務局においては各種の受付、事務作業、会計処理など多方面に関わり各事業を成功に導いてくれています。広報委員会では、各セミナーに参加し、その内容を技士会ニュースへ掲載するほか、医療新聞等への取材協力など認知度向上に貢献しています。公益事業推進委員会では、AED点検講習を行ったほか、一般の方々への公開講座を各地方で積極的に開催し、医療機器の安全性と信頼性の向上に努め、臨床工学技士の認知度を向上させております。危機管理委員会は、引き続き第3回危機管理セミナーを本年も開催することとなっております。

この場を借りまして当会活動へご尽力いただいている皆様には、心より感謝を申し上げます。

その他には、公益法人立ち入り検査が北海道によって昨年12月18日に実施されました。その結果、事業の適切な運営が認められ「引き続き適正な法人運営に努められるよう願います」との通知を頂きました。今後も、公益社団法人として公益事業を全道で展開する中で、「個々のスキルアップと技術の研鑽」も忘れることなく、教育システムの充実と道民の皆様へ貢献できる活動をし、あり方についても様々な視点から検討し、改善を加えるべく進めて行きます。

今後も皆様の一層のご支援、ご協力をお願いし、本年が会員皆様にとりまして益々のご健勝の年でありますことをお祈り申し上げます。